

私たちの町議会 りくべっ

No. 82

発行日・平成27年11月6日
編集・議会運営委員会
発行・北海道陸別町議会

9月定例会

陸別町議会9月定例会は、9月8日から18日まで、その内の5日間開かれました。今定例会では、委員の選任・任命について5件、条例案6件、補正予算案6件、意見書案3件、発議案2件、その他3件を可決し、平成26年度決算、全7会計を全て認定し、閉会しました。

平成27年度 補正予算から

平成27年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	1億3,162万円	44億2,571万円
特別会計		
国保事業勘定	390万円	4億5,611万円
公共下水道事業	△5,000万円	1億7,166万円
介護保険事業勘定	1,226万円	3億0,299万円

主要事業の概要

○社会福祉協議会補助金（福祉有償運送）48万円
人工透析治療のため足寄に通院している方を対象に、年内にも送迎サービスを開始する。

○マイナンバー関連予算
646万円
操作端末機器の購入、電算システムの改修に関する経費など。

○強い農業づくり事業補助金 1億957万円
町内のTMRセンター（飼料供給センター）のバンカーサイロ増設事業に対し、北海道の補助金が町を通して交付される。

まめ辞典

バンカーサイロとは？

外観はコンクリートで3方の壁と底を囲うだけの構造物が多い。

サイロとは、飼料用作物を発酵させるための施設で、昔からよく見られる塔型のサイロに代わり、近年は構造が単純で、作業性に優れたバンカーサイロ（水平型サイロ）が主流になっています。



委員の選任・任命

公平委員会委員に三好悟さん、中村昇道さん、固定資産評価審査委員会委員に林恵子さん、加藤雅英さんを選任することに同意しました。

また、教育委員会委員に石橋勉さんを任命することに同意しました。（5名いずれも再任）

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、平林暁仁氏は適任と答申する事を決定しました。

可決した意見書

○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

○「手話言語法（仮称）」制定を求める意見書

○安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書

平成26年度 決算認定



○移住体験住宅管理費用
102万円

Q 前年度と比べ利用者が伸びているが、利用者などをどう分析し、活用しているのか。

A リピーターの獲得よりも、より多くの人に利用してもらうことを重視し、移住検討者に配慮しながら、利用調整をしている。

Q 体験者が移住に結びつくよう対応して欲しい。

A 利用者へのアンケートの回答を参考にしながら、より多くの利用と移住に結び付けていきたい。

○スクールバス運行管理費
2千870万円

Q 農村部の高齢者の足としても利用されているが、通学生のない地域の対策など、今後の地域交通対策をどう考えているか。

A 地域の大人がスクールバスを利用するのは例外的な扱いである。地域交通対策については、コミュニティバス、デマンド交通などの調査・研究をしていきたい。

○ミネラルウォーター製造
233万円

Q 前年度に比べPR用の利用本数が減っている。もっと積極的に活用すべきでは。

A 賞味期限の短い平成25年度製造分の在庫を優先して利用した経緯がある。26年度製造分からは賞味期限が2年に延びたので、今後27年度にかけて、PR利用、販売、両面で努力したい。



○町職員の時間外勤務

Q 監査委員の意見書によると、年間500時間を越える職員や、月に100時間を越える職員がいるとの調査結果が出ています。健康管理の面からもオーバーワークを放置せず、必要な部署には職員の増員、もしくは臨時職員の採用を検討すべきでは。

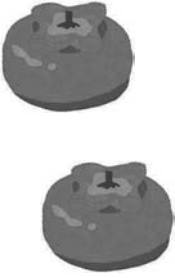
A ご指摘のとおり改善に努めなければならぬと考えているが、業務の性質により時間外対応が必要な部署があることもご理解願いたい。

平成26年度 各会計の決算の状況

(単位: 万円 千円以下端数処理)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引剰余金	繰越明許費繰越額	一般会計からの支援額	実質に近い収支	
一般会計	47億5,293	46億1,227	1億4,066	5,810		8,256	
特別会計	国保事業勘定	4億9,726	4億8,263	1,463	0	4,029	△2,566
	国保直診施設勘定	4億6,644	4億1,369	5,275	0	1億4,295	△9,020
	簡易水道事業	2億0,172	1億9,681	491	0	1,380	△889
	公共下水道事業	1億0,549	1億0,343	206	0	7,290	△7,084
	介護保険事業勘定	2億8,232	2億7,264	968	0	0	968
	後期高齢者医療	4,141	4,141	0	0	0	0

決算認定



○交通安全対策費

128万円

Q 新町の電光掲示板の文字が一部消えている。管理を適切に行い、「交通安全」の喚起に努めてほしい。

A ご指摘の箇所は故障しがちであるが、適切な管理と交通安全の啓発に努めたい。

○市民後見人推進事業

47万円

Q フォローアップ研修等の内容は、

A まず市民後見人の活動母体となる実施機関の設立を目指し、26年度に準備会を立ち上げた。

フォローアップ研修は陸別に24人誕生した市民後見人に、最新の情報を提供する場となっている。

○公共下水道事業特別会計

Q この特別会計は一般会計から財政支援を受けており、下水道供用区域外の住民の税金も

充てられている。公平性の観点から、農村部の合併浄化槽設置に対し何らかの助成をすべきでは。

A 以前、合併浄化槽の設置について、農村部にアンケート調査を実施したが、具体的な施策の実施には至らなかった。今後は他町村の事例を調査し、助成制度の導入について前向きに検討したい。

第4回臨時会

8月25日に開会された第4回臨時会では、工事請負契約の締結について1件を審議し、可決しました。

契約の内容

○町道殖産4号線道路改良工事 6千274万円

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
●北海道市町村総合事務組合理約の変更について	可決
●北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について	可決
●北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更について	可決
●陸別町営住宅設置条例の一部を改正する条例	可決
●陸別町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
●陸別町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
●陸別町消防団の設置等に関する条例	可決
●陸別町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例	可決
●陸別町消防団員退職報奨金の支給に関する条例	可決
以下議員発議	
●議員の派遣について〔常任委員会合同道内視察（下川町、名寄市）〕	可決
●陸別町議会ホームページ運営規程の一部を改正する規程	可決

一般質問

9月定例会では5人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

久保広幸 議員

交通弱者対策の考えを伺う

Q 持続可能なまちづくりのために、住み続けたいと思えるような生活環境を築くことにつきると思う。現在、自家用車を主な交通手段としている方々が、高齢化などにより、車の運転が困難になったり、控えたりすることが予想される。コミュニティバスの運行やハイヤーの初乗り料金を超えた部分の助成を行う考えはないか。

(野尻町長)

A 特に、地域に住む高齢者等の交通の確保については、重要な課題であると認識しており、方法等を調査、検討し、できる限り早期に実現させたい。

今後の介護事業の方向性は

Q 介護保険法の改正に伴い、デイサービス事業の介護報酬が、大きく引き下げられたこと、特別養護老人ホーム入居基準の引

き上げによってショートステイ事業の重要度が増していること、更には高齢者世帯の生活維持のために欠かせないホームヘルプ事業の充実が急がれること。このような背景から一体的に運営する小規模多機能型居宅介護事業を行っていく必要があるのでは。

(町長)

A この事業については、保健・医療・福祉・介護の関係者で構成される地域包括ケアシステム推進会議の中で、視察や検討がされている。現存する事業所との関わりもあるが、今期中(第6期)に二つの調査など検討を進め、次期介護保険事業計画の策定までには、方向性を出したい。

住宅環境整備の助成拡大を

Q 民間活用住宅建設補助制度により住宅環境の改善は図られてはいるが、更に、住宅リフォームや新築に対し、助成してはどうか。

(町長)

A 定住促進のため、住宅の新築、改修に係る費用の一部助成について、制度の内容などを具体的に調査、研究する。

保育料等の見直しの考えは

Q 本町の保育料は、他町村と比べ低額ではなっているが、子育て支援の町をアピールするうえでも、国の基準である多子減免の導入等、今後どのように進める考えか。

(町長)

A 子育て支援の充実は、雇用対策と並んで重要なことと考えている。他町村の状況等を調査し、保育料と学童保育料について、本町に合った制度を考え、できれば来年度より実施したい。

雇用対策へ向けた行政の関わりは

Q 労働者不足が、業種を問わず深刻な状況にあり、行政は、人材の確保に向け、事業者、団体と連

携し、積極的な行動を行う必要がある。専任の職員を配置し、学校訪問、合同企業説明会への参加など、対策を強化すべきでは。

(町長)

A 考えるところはあるが、ご意見として参考にさせていただく。

郷土を担う教育環境づくりを

Q 地域を支える人材を育成するため、子ども達が、本町の魅力や現状と課題を理解し、郷土の将来を考える教育が必要であり、キャリア教育などを発展させていく考えはないか。

(野下教育長)

A 今年度より、中学生の土曜授業が始まることもあり、職場体験、出前授業などのキャリア教育を通じて、地域で育てる教育を進めていきたい。子ども達には、「志を果たして、いつの日か帰るところ」ではなく、「志を果たしに当町の担い手として活躍される」よう育んでいきたい。

一般質問

中村佳代子 議員

奨学資金制度の

見直しを

Q 人口減対策や労働者不足を補うためにも、

学校卒業後、町内の事業所で一定期間以上就業の条件を設け、返済を免除するよう本町の奨学資金貸付制度を見直しはどうか。

A また、借り受け者の心情に配慮し、条例にある貸付要件の「経済的な修学困難者」という表現を改めては。(町長)

A 給付型の奨学金については、学校、行政、財団関係、新聞社などのものである。

本町では、奨学資金貸付制度のほかに医療技術職員養成資金の貸付制度があるが、教育費の負担軽減は子育て対策の一環と考えており、若年層のUターンを推進するうえでも、新たに本町独自の奨学資金制度化に向けて検討する。

ホームページの充実を

Q 町のホームページが新しくなったが、子育てなど本町独自のすばらしい政策の掲載が漏れており、

移住推進のためにも充実した内容にすべきでは。(町長)

A 制度の掲載が十分でない状況は認識しており、検索しやすいよう工夫し、順次、改善するよう指示したい。

ふるさと納税の

検討状況

Q ふるさと納税者(寄附者)に対するお礼の検討状況は。(町長)

A 高額な寄附者には、地場産品を差し上げているが、一般寄附者の方々へのお礼については、産品の数が少なく、開発途上でもあるので、結論に至っていない。

渡辺三義 議員

町道の改良計画を伺う

Q 中斗満第2から関地区の国道242号線に繋がる、町道のトマム原野線、関北1線連絡線の約8キロメートルの区間は、大型車両を含め交通量が多いが、幅員が狭く危険な状態にある。

改良計画はあるのか。(町長)

A 本路線の改良工事については、平成28年度の補助採択に向けて、北海道と協議中である。幅員8メートルへの拡幅等約9億円の事業費を見込んでいますが、採択されれば、平成33年度完成がめどとなる。

緊急雇用対策事業

について

Q 仕事が少なくなる冬期間等、建設業や林業などに従事する季節労働者を支援するための事業であるが、利用状況及び事業者に対し、諸経費が支払われているのか伺う。(町長)

A 平成21年度から平成26年度までの6年間で、8事業体、335名の利用があり、事業者に対して、一定の諸経費を支払う事業となっている。

なお、今年度からひとり当たりの日数制限を25日から30日までに改める見直しを行った。

Q 労働者不足の現状があり、基幹産業を守るためにも、町外から通勤している労働者もこの事業の対象にすべきでは。(町長)

A 入居する住宅が本町になかったという特別な事情を除き、この事業の対象とはしていない。今後調査してみたい。



▶国道との交差点

本田 学 議員

リース牧場への町の関わりは

Q 人口減少問題のためにも一次産業を中心とした取り組みが重要な課題になっている。農業関係では、後継者不足などを背景に、畜産クラスター事業やリース牧場の検討がされている。リース牧場は、どういった手法をとり、町が関わっていくのか。
(町長)

A 現在、畜産クラスター協議会において、リース牧場、バイオマス等、幅広く検討がされている。本町に合った手法を取り入れるべく、関係団体と協議している段階であり、今年度中には、一定の方向性を見いだしたい。

商工業への取り組み

Q 商工業の将来を考えたとき、後継者不足などにより様々な業種で廃業を余儀なくされる可能性がある。住民生活基盤の安定

まめ辞典

リース牧場とは？

公社などが離農者から農地や生産設備を買い取り、既存の農家及び新規就農者に対し、初期投資の負担を軽減するため、一定期間、設備を貸し付けるしくみ。経営を安定させた後に買い取ることが出来る。

のためにも商工会と連携し、事業者に対して将来の予定の調査を行うなど、空き店舗、不在業種が発生しないよう取り組みが必要ではないか。
(町長)

A 町外者の参入なども視野に入れていく必要もあると考えており、商工会と連携して取り組んでいきたい。

谷 郁 司 議員

学校跡地等の管理はどうしていくのか

Q 町が管理している地域の学校跡地や団体所有の廃屋周辺について、灌木、雑草処理などの管理が

不十分で、景観が損なわれている。また、旧校舎や付随する教員住宅については、今後どうしていくのか。
(町長)

A 旧学校跡地周辺の管理は、地域の自治会にお願いしているものもあるが、管理が十分ではない状況も把握しており、対応を検討したい。使用していない建物については、地域の自治会と協議のうえ対処していきたい。団体所有の建物については、関係機関と協議させていただく。

空き屋解体に対する今後の対応は

Q 小利別地区などで空き家の解体が必要に見受けられるが、対策は検討しているのか。
(町長)

A 現行の町補助制度は、陸別市街地のみとなっているが、ニーズを調査するとともに、所有者不詳の建物への対応については、国の空き屋再生等推進事業の内容を研究したい。

歴史総合資料館の建設と観光ガイドの充実を

Q 総合的な郷土資料館を設置し、現在、点在して保管している各種文化財、文化遺産、資料などを展示し、観光と郷土の歴史教育の場とすべきでは。
(教育長)

A 開拓時の道具など、歴史を紐解き、物語をどうつくるかを考えている。先進地視察なども行いながら文化財審査委員会とも協議したいが、ゾーンとしての展示もひとつの方法だと考えている。
(町長)

A 多くの関係団体と協議し、時間を掛けて考えていく課題だと認識している。

Q 高規格道路開通も見据えて、観光ガイドを商工会又は観光協会に委託し、サービス向上を図ってはどうか。
(町長)

A 総合的に考えていかなければならない時期に来ており、一步一步進めていきたい。

常任委員会 合同道内視察報告

報告者 視察団団長 谷 郁 司

10月1日から2日までの2日間、議会議員、事務局と副町長及び担当課長2名の同行をいただき、視察を行いましたので、本紙で報告します。

○下川町

木質バイオマスエネルギーの利用と限界集落の危機を乗り越えるための構想について



▶自走式チップパー

多くの公共的施設で、木質バイオマスによる温水供給暖房が行われており、役場庁舎周辺に総合ボイラーが設置され、役場、消防署、福祉センターなどに利用されています。

燃料にされるチップ原料は、林地残材や支障木、栽培したヤナギなども利用されることですが、製材に向かない低質材の利用比率が高いようです。この原木を建設業協会が集積し天日乾燥後、燃料組合が、1時間当たり、20トン処理できる自走式チップパーにより、破碎します。利用者は、これを購入する仕組みとなっており、ごこの段階でも一定の利益が有り、各業界への影響はないことと見られます。当初は、石

油系の燃料とのコスト問題もありましたが、原油価格の上昇、施設規模の拡大により、有利となっているそうです。

現在、温水と発電の両方を行う施設の建設を計画中のことで、木質バイオマス関連では、先進的な事業を展開されています。

次に、一の橋地区を視察しました。この地区は、以前、旧営林署やJRで栄えていましたが、進行する限界集落化を何とかしようと、エネルギー自



▶一の橋地区の木質バイオマスボイラー施設

給、新産業の創造、公営住宅建設など集住化によるコミュニティ再生を目指しています。

公営住宅の建設のほか住民センター、地域食堂が設けられ、総合木質ボイラーにより住宅、障がい者施設、公共施設、植物栽培施設などに温水が供給されています。

また、この地区には、現在、地域おこし協力隊員が8名おり、地域食堂の運営、ハウス栽培、住民への生活・買い物、除雪支援など幅広い活動を行っています。地域集落の再生へ参考となる視察となりました。

○名寄市

薬用植物資源研究センター

陸別町では、昨年度より薬用植物の試験栽培が行われていますが、課題や収益性などについて、専門機関の意見を聴くため、視察をさせていただきました。



▲薬用植物資源研究センターにて

きました。

漢方薬とは、植物や骨、昆虫などの生薬が配合されたものですが、厚生労働省が医薬品として認められたものだとされています。奈良時代から平安時代にかけて中国から伝わり、江戸時代に日本独自の医療技術として発達しました。

栽培に当たり行政は、苗の生産や農薬の登録への対応が重要とのことと見られます。収益性は多く望めないようにも感じましたが、可能性を秘めた農業分野ではあります。

**総務・産業
常任委員会報告**

8月6日、所管事務調査により、委員会合同で下水道浄化センター、弥生橋、西トナム浄水場、トラリ浄水場、上陸別水源池、計5か所の視察を行いました。



上陸別水源池



下水道浄化センター

産業常任委員会報告



J A陸別町にて

8月11日、陸別町農業協同組合において勉強会を実施し、大型事業が予定されている「畜産クラスター事業」について説明を受けました。

勉強会終了後、株式会社シリウスのTMRセンター（飼料供給センター）を視察しました。

今後、引き続き調査・研究することになっています。

議会の動き

【7月】

23日 新任議員研修会
(帯広市)

【8月】

6日 常任委員会合同所管事務調査（町内視察）
11日 産業常任委員会
(JA陸別町との勉強会ほか)
19日 議会広報研修会
(札幌市)

25日

議会運営委員会
第4回臨時会
議員協議会

【9月】

4日 議会運営委員会
8日 9月定例会
議員協議会

総務常任委員会
産業常任委員会
議会運営委員会

9日
16日
17日
18日

9月定例会
9月定例会
9月定例会
9月定例会
議員協議会
議会運営委員会

【10月】

1日～2日 常任委員会合同道内視察
(下川町・名寄市)

次回の定例会は12月に開催されます。
詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。
皆さんの傍聴をお待ちしております。



世帯の声を聴こう

請願（陳情）は国や町などに対しての要望を文書で提出するもので住民の権利として保障されています。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>